

株式会社ファンクショナル 会社案内



改訂: 2015/10/10

1

会社概要

株式会社 ファンクショナル

※ファンクショナルとは、「機能的」という意味。
ソフトウェアエンジニアにとっては馴染みの単語。
「Function」は、なすとげること。「al」は性質の形容。
組織やエンジニアの機能が果たしている／目的に適っている状態を目指します。

- 英語表記 : Functional Corporation
- ドメイン名 : functional.co.jp
- HP : <http://www.functional.co.jp>

- 設立 : 2009/10/01
- 資本金 : 300万円
- 取引銀行 : みずほ銀行川崎支店、楽天銀行、ジャパンネット銀行
- 社会保険 : 全国健康保険協会・神奈川支部（協会けんぽ）
- 住所 : 川崎市川崎区渡田2-7-4
- 代表取締役 : 白石尊士

経営理念

- ITを利用したサービスの開発と維持を、ソフトウェアエンジニアリングにもとづいて、支援することを目的とします。ユーザー側企業と開発側企業やエンジニアの双方に対して、ビジネスとして真に価値があり、高品質なサービスやソフトウェアを効率的・経済的に開発できる環境の構築のために貢献します。

※ソフトウェアエンジニアリングは、ビジネスとして高品質なソフトウェアを効率的・経済的に開発できるエンジニアと環境を構築するための取り組み。ベストプラクティスを体系化した知識・技法にもとづいて、エンジニアや組織、プロセスの成熟を図る必要がある。

- ソフトウェアエンジニアリングにもとづいて、ユーザー企業のITシステム導入と改善を支援します。
- ソフトウェアエンジニアリングにもとづいて、開発側企業のプロセスや基盤技術の成熟度を向上させ、またエンジニアのスキルの向上を支援します。

経営理念 – 背景

- 開発ベンダーやコンサルティングファームの現状

ユーザー企業でのITシステムの構築・導入においては、開発ベンダーやコンサルティングファームに主導権を奪われている。ビジネスアナリシス（要求開発）やシステム開発では、彼ら自身の他との差別化のために、属人性や個人技・個人知によって主導されており、誰もが認知できるようなわかりやすい体系のなかに位置づけることが避けられ、自らをプロフェッショナルであると主張することだけが強調されている。ベストプラクティスと称して膨大な統一的な開発プロセスや汎用ソフトを型どおりに当てはめようとしていたり、また逆に十分なアセットを持ちえていないにも拘わらずアジャイルと称した属人性だけの対応が目立っている。

ユーザー企業は彼らに主導権を奪われ、振り回されているのが実情である。正しい、投資対効果に見合ったシステムを構築でき、有効な継続的改善が行えているなら、それでもいい。しかし実際はこの10年間をみてもそれほど進化しているとも、全体として成熟してきているとも思えない。

- 必要なのは、ソフトウェアエンジニア全体の底上げ

そもそもソフトウェアエンジニアリングは、一人二人のプロフェッショナルを突出させることが目的ではない。ビジネスとして高品質なソフトウェアを効率的・経済的に開発できるエンジニアと環境を構築することだ。エンジニアは、体系化された基礎知識や効果的な技法を理解し、それに基づいて訓練され、実績を積む必要がある。またエンジニアや所属組織は、効果的な開発プロセスとそこで適用できるノウハウを形式知として構築しておく必要がある。

経営理念 – コンセプト

- ファンクショナル社のロゴマークで、理念を表現しています。ソフトウェアエンジニアリングにおける「機能的」とは何か、そこにおけるファンクショナル社の位置づけを象徴的に表現しています。ヒストグラム化した「F」とそれを一部とするデジタル化された四葉のクローバーです。



- ソフトウェアエンジニアリングは、体系化された基礎知識や技術、その体系に基づいて訓練された人材、組織とそこで実施されるべきプロセスで構成されます。四葉のうち3枚がお客様で達成されるべきエンジニアリングの要素である技術、人、組織とプロセスを表現しています。もう1枚の葉がお客様をご支援し、下支えするファンクショナル社を表現しています。これら4つの協調によって幸運が得られること、プロジェクトが成功することを希求しています。

事業内容

■ ソフトウェア開発支援事業

- ビジネスアナリシス、要求開発支援
- 開発プロジェクト支援（システム要件定義支援、アーキテクチャ設計支援、プロジェクトマネジメント支援）
- 受託ソフトウェア開発（企画、システム要件定義、アーキテクチャ設計、詳細設計・構築・テスト、導入・移行）
- 運用・保守・継続的改善の支援
- 上記のコンサルティング、教育・トレーニング、教材作成支援

■ インターネットサービス事業

- ソフトウェアエンジニアのスキルアップ支援サービス「スクエアリングサービス」の運営

事業内容 – 実績

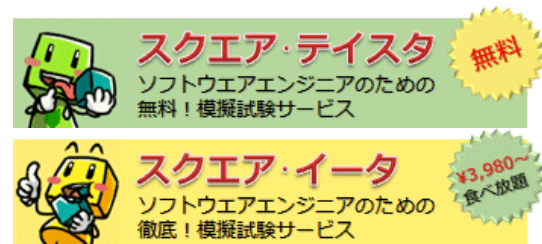
■ ソフトウェア開発支援事業

- 2011年
 - ・自動車工業団体様にて、ツールチェーン構築支援として要求文書交換標準規格の策定およびツールプロトタイプを提供 (Java)
- 2012年
 - ・証券会社様にて、アルゴリズムトレーディングシステムのアーキテクチャ解析、次世代フレームワークおよび開発支援ツールの設計・構築を支援 (Java)
- 2013年
 - ・台湾メーカー車載器(ドライブレコーダ)の開発を、日本での品質基準に適用するためにテストプロセス、テスト技法、品質管理の側面から支援 (C++)
 - ・中国鎮江市で進められている生態都市(エコシティ)開発での都市設計シミュレーションを支援 (Java)
- 2014年
 - ・グルメサイト様にて、レストラン情報を管理するための基盤開発を支援 (Scala)
- 2015年
 - ・医療機器メーカー様にて、アーキテクチャ解析 (C++)
 - ・ソフトウェア開発会社様にて、新入社員のJava研修の講師 (2か月間)

■ インターネットサービス事業

- 2010年
 - ・スクエアリングサービスを公開
- 2011年
 - ・テスト基礎コース、
 - ・テスト中級コースを提供

※各コースは、毎年、拡充を図っている
 ※その他、ITIL対応コース、テスト中級コース(アナリシス編)などを準備中



事業内容 – スクエアリングサービス

■ スクエアリングサービスとは

- ソフトウェアエンジニアの方々がスキルアップの一環としてIT関連の資格取得を目指される場合に利用いただきたい模擬試験サービスです。「スクエアリング」は、エンジニアの技術力やスキルを「二乗する」という意図のネーミング。ソフトウェアエンジニアリングの体系にもとづいて支援します。 <http://squaring.jp/> を参照のこと。
- 提供する模擬試験サービスには、無料で利用できる「スクエア・テイスタ」と徹底コース(有料)の「スクエア・イータ」があります。イータとしては、現在、テスト基礎コースとテスト中級コース(マネージャ編)を提供しています。

■ 利用実績

- サービス公開から4年半の期間で、2コースを合わせて、1,300人の利用者がいます。そのうち530人が有料コースを利用されました。JSQTB試験を受験される方の20%が利用されています。

※アカウント登録して利用される方についてのみ集計しています。サービスでは、アカウント登録しないでゲストとしての利用も可能であり、ゲスト利用者を含めると、1.5倍の利用者と試算されます。



お問い合わせ

- お問い合わせは、以下にお願いいたします。

※電話でのお問い合わせには対応できない場合がありますので、メールまたはホームページからのお問い合わせフォームでお願いいたします。

- **株式会社ファンクショナル**

川崎オフィス

住所：〒210-0837 川崎市川崎区渡田2-7-4

電話：044-767-2374

担当：白石

- メールアドレス：staff@functional.co.jp
- お問い合わせフォーム：<http://www.functional.co.jp/contact/>